

地球にやさしい暮らしやすい
私たちの
ゼロカーボン



39

サンキュー

アクション



地球には、地球自身を健やかに保つ力があります。きれいな水も空気も、豊かなみどりも、私たちが当たり前を受け取ってきた恵みは、地球がずっと、そっと支えてくれていたものです。

しかし今、そのバランスが崩れ始めていて、私たちのフツウの暮らしにまで危機が迫っています。激しく降る大雨や命に関わるような暑さは、地球が私たちに送っているSOSなのかもしれません。

だからこそ今、かつての人々が大切にしていた自然への感謝の気持ちを、もう一度見つめ直してみる必要があります。

地球を守ることは、私たちのフツウの暮らしを守ることに繋がります。これ以上、大雨や猛暑といった異常気象を増やさないための挑戦や変わりゆく環境から自分たちの命を守るための備えを、朝霞市の39(サンキュー)アクションとして一緒に進めていきましょう。

ありがとうという気持ちを、未来をつくる具体的な力に変えて、誰もが安心して暮らせる明日をみんなで一緒につくっていきませんか。

令和8(2026)年2月28日
ゼロカーボンシティ宣言
朝霞市

地球の体温が上がり続けている！

地球のまわりにある温室効果ガス（CO₂）は、太陽の熱を閉じ込めて、地球を暮らしやすい温度に保つ大切な役割を担っています。

しかし今、このガスが増えすぎたことで地球の温度が上がる地球温暖化が進み、その影響で、大雨や猛暑といった激しい天候の変化を引き起こす気候変動が世界的な問題になっています。



温室効果ガスと地球温暖化メカニズム
出典) 全国地球温暖化防止活動推進センター

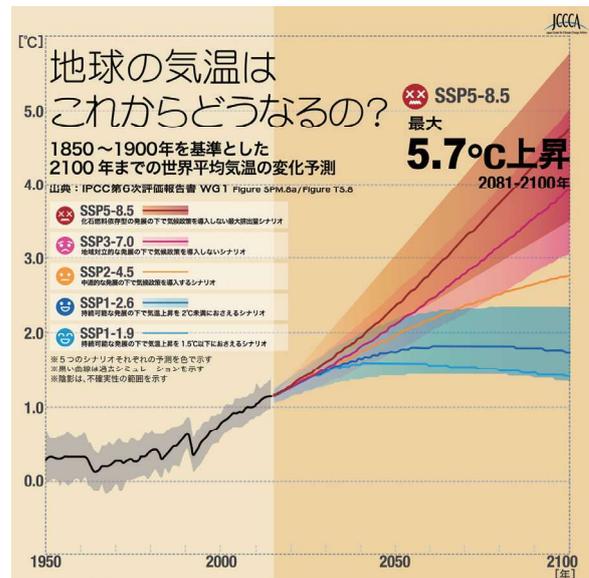


地球温暖化が進むと どうなってしまうの？

止まらない気温の上昇

世界の平均気温は、産業革命前と比べてすでに約1.1℃上昇しました。たった1.1℃と感じるかもしれませんが、このわずかな変化が気候のバランスを大きく崩しています。

このまま対策をしなければ、今世紀末には最大で約5.7℃も上がってしまうと予測されています。



世界平均気温の変化予測(観測と予測)
出典) 全国地球温暖化防止活動推進センター

朝霞市にも影響があるの？

地球温暖化は、遠い国や遠い未来の話ではありません。今、私たちのすぐそばで、これまでに経験したことのないような変化が起きています。

激しさを増す自然災害

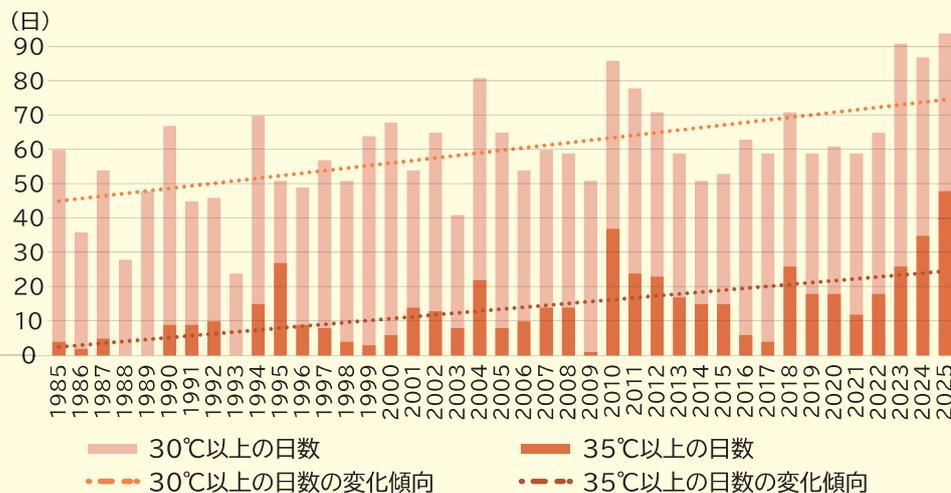
近年、全国で今まで経験したことのない大雨が発生しています。身近なところでは、令和元年の東日本台風(台風第19号)の際、私たちの黒目川も氾濫危険水位に迫り、大きな不安に包まれました。温暖化が進むと、こうした災害はさらに激しく、頻繁に起きるようになります。



氾濫危険水位に迫る黒目川

命を脅かす記録的な猛暑

令和6(2024)年度、朝霞市周辺エリアでは、熱中症で277人(うち朝霞市だけで97人)もの方が救急搬送されました。これまでの夏の暑さは、今や命に関わる災害級の暑さへと変わっています。



過去40年間の猛暑日等の日数
(気象庁練馬観測所の観測データより作成)

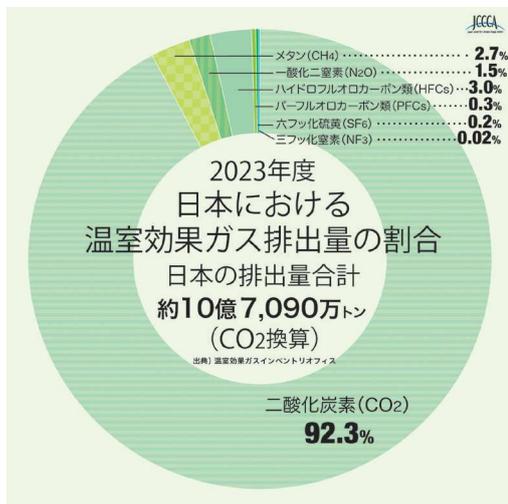
どうしてゼロカーボンに 取り組む必要があるの？



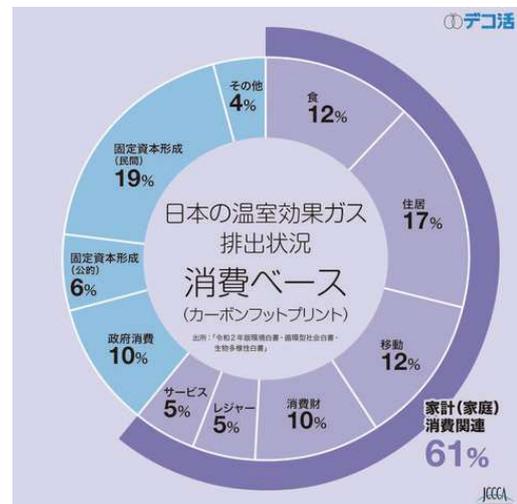
地球温暖化の原因である温室効果ガスには二酸化炭素など7種類のガスが含まれています。日本の温室効果ガスの約9割が二酸化炭素です。

二酸化炭素は、電気を作ったり、車を動かしたり、物を燃やしたりする時に発生します。二酸化炭素の排出を、消費ベース（最終消費者側の排出とみなす考え方）でみた場合、二酸化炭素排出量の約6割以上が、衣食住を中心とする家計によるものとされています。

私たちの何気ない日常が、地球温暖化と深く関わっているのです。



日本における温室効果ガス別排出量
出典) 全国地球温暖化防止活動推進センター



日本の温室効果ガス排出状況(消費ベース)
出典) 全国地球温暖化防止活動推進センター

今まで経験したことのない大雨や命に関わる暑さは、気候変動がもたらしている警告です。私たちの命と財産、そして朝霞の豊かな自然を守り、これからも安心して暮らしていくために、今、ゼロカーボンの取り組みが必要です。

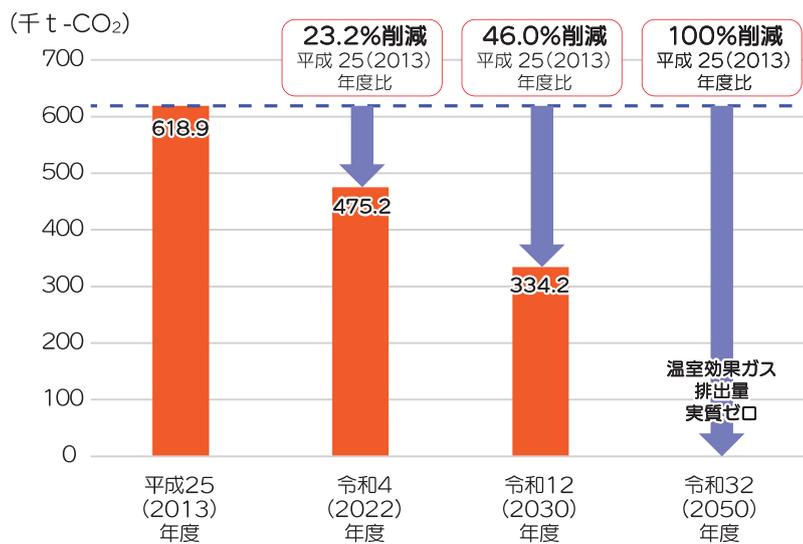




朝霞市の挑戦

2030年度までに46%削減！ 2050年度にゼロカーボン達成！

朝霞市は、市域からの温室効果ガス排出量を、2030年度までに46%削減(2013年度比)すること、2050年度までに温室効果ガス排出量実質0にする目標を掲げました。



温室効果ガス排出量の削減目標



朝霞市の2つの対策

朝霞市の地球温暖化の対策には、その原因物質である温室効果ガス排出量を削減するための「緩和」と、気候変動の影響を軽減したり、順応して快適に暮らすための「適応」があります。

緩和

温室効果ガスを減らすこと

- ・再生可能エネルギーの導入促進
- ・家庭や職場での省エネ
- ・二酸化炭素の吸収源となる森の保全や緑化の推進

適応

地球温暖化の影響に備えること

- ・災害に強いまちづくりの推進
- ・気候変動の影響に備えた工夫の実践



朝霞市の ゼロカーボン

39 アクション

サンキュー



今こそ「サンキュー」を形にしよう

かつての人々は、自然を敬い、その恵みに感謝して生きていました。今、改めてその「感謝」を思い出し、行動する時が来ています。地球を守ることは、私たちの「フツウの暮らし」を守ること。朝霞市では、地球への感謝を込めて「39(サンキュー)アクション」をスタートします。

これ以上、大雨や猛暑といった異常気象を増やさないための挑戦や変わりゆく環境から自分たちの命を守るための備えを、朝霞市の「39(サンキュー)アクション」として一緒に進めていきましょう。



1 おうちのエネルギーを 上手に使って 快適に過ごそう

- アクション 01 太陽の光で電気をつくろう
- アクション 02 熱が逃げない家にしよう
- アクション 03 電球をLEDにかえよう
- アクション 04 省エネ家電を選ぼう
- アクション 05 地球にやさしい電気を選ぼう
- アクション 06 水を大切にしよう



2 移動をもっとエコに！ 自転車や電車で 元気に動こう

- アクション 07 徒歩や自転車でいこう
- アクション 08 電車やバスをもっと使おう
- アクション 09 次世代の車を選ぼう
- アクション 10 エコな運転を心がけよう
- アクション 11 テレワークを活用しよう



3 食べものを大切に おいしく地球を守ろう

- アクション 12 食べ残しゼロを目指そう
- アクション 13 生ごみを土の栄養に変えよう
- アクション 14 地元の旬を味わおう
- アクション 15 いろいろな食材を食べよう
- アクション 16 エコなマークを選ぼう